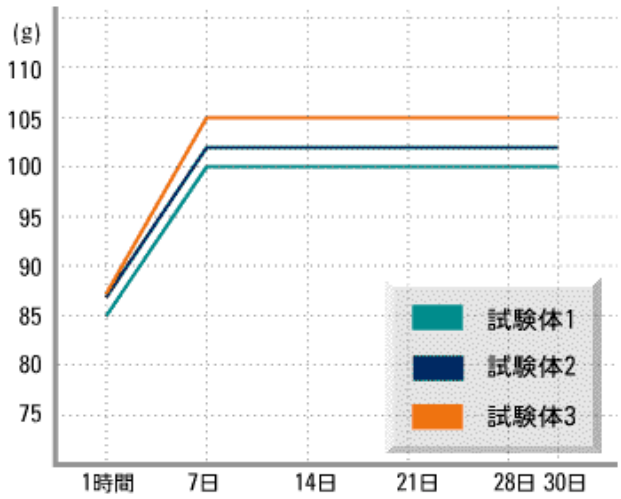
3】浸漬重量変化測定

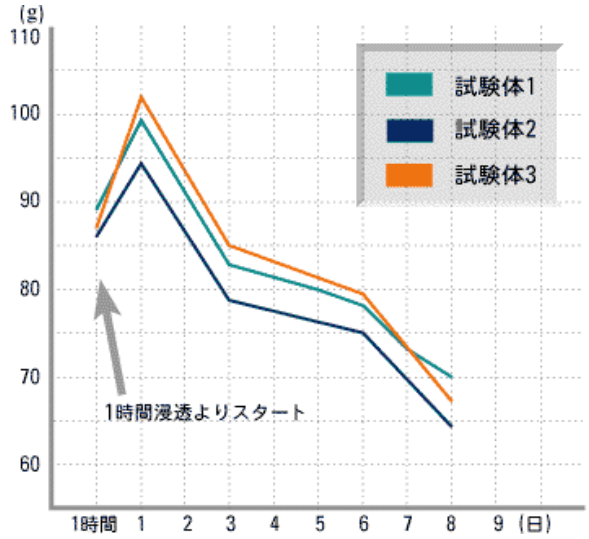


□試験体：ゲルフィットロープ　L=190㎜を１時間、水に浸漬し
　　計量　　85ｇ～87ｇ
□試験内容：水中に放置し計量　（7.14.21.28.30日測定）
□試験結果：30日放置後も試験体重量(100～105ｇ）変化なし

※ゲルフィットロープ設置後、型枠内の水溜り冠水(静水)状態
　においては内部ベントナイトは減量しません。
　ゲルフィットロープ表面に溶出したベントナイトにより
　内部が保護され減量しなくなると思われます。

2　　2

4】浸漬繰返し重量変化測定

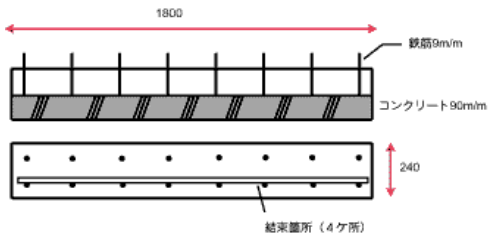


□試験体：ゲルフィットロープ　L=190㎜を１時間、水に浸漬し
　　重量を測定　　85ｇ～87ｇ
□試験内容：1日毎に試験体計量と汚濁水を清水に交換
□試験結果：8日目(7回水替え)で重量比24%の減少

※ゲルフィットロープ設置後、型枠内流水状態が考えられる場合
　出来るだけ、コンクリート打設までの時間を短くしてください。

5】降雨によるゲルフィットロープの重量変化測定

□試験体：ゲルフィットロープ　L=1800㎜を１時間、水に浸漬し
　　計量　　310ｇ/m
□試験内容：外部に型枠設置前の状況を再現し、試験体設置
　　1カ月後に試験体計測
□試験結果：30日放置後、試験体重量　290ｇ/m　重量比－6.45%



気候状況は9日/30日降雨があり、雨量合計は137㎜
(名古屋気象台調べ)

6】塩水中におけるゲルフィットロープ(ベントナイト)の膨潤力について

□試験内容：NaClを用いて、任意の塩濃度溶液を作成し、100mlのメッシリンダーに分中する。
　　ベントナイト2gを計量し、上記塩溶液に30分毎、10回に分けて投入し、24時間静置し、上澄みとの境の目盛を読み
　　膨潤力の値とします。

□試験結果：下記　膨潤力表　　海水の塩分濃度は約3%とされていますが、海に隣接する埋立地は条件にもよりますが、大体塩分
　　濃度が1%と考えられ、膨潤力は15(ml/2g）以上と考えられます

塩濃度%	0	0.5	1	3	5	10
膨潤力	35	21	15	9	7	6